

様式第1号

兵庫県福祉サービス第三者評価の結果

1 評価機関

名 称	NPO法人 福祉サービス評価センター
所 在 地	神戸市北区鈴蘭台北町1-11-8 ベルダ鈴蘭台601号
評価実施期間	平成22年6月21 日～平成22年7月12日 (実地 (訪問) 調査日 22年 7月 6 日)
評価調査者	HF05-1-0083 HF05-1-0085 HF05-1-0089 HF05-1-0090

※契約日から評価
結果の確定日まで

2 福祉サービス事業者情報

(1) 事業者概要

事業所名称： 枚田みのり保育園 (施設名)	種別： 保育所
代表者氏名：理事長 小林公正 (管理者) 園長 小林公正	開設 (指定) 年月日：昭和26年7月
設置主体： 社会福祉法人 恵心福祉会 経営主体：	定員 60人
所在地： 〒669-5261 兵庫県朝来市和田山町枚田1649	
電話番号：079-672-5504	FAX番号：079-672-5952
E-mail：	ホームページアドレス： http://www.ans.co.jp/n/hirataminori/

(2) 基本情報

<p>理念・方針</p> <p>枚田みのり保育園は、児童福祉法に基づいた乳幼児の保育を行う。保育にあたっては児童の人権や主体性を尊重し、児童の最善の利益と幸福のために保護者や地域社会と力を合わせ、児童福祉事業及び乳幼児期の保育、教育を積極的に増進し、あわせて地域における子育て支援などの家庭援助を行う。この為に職員は児童に愛情をもって接し、知識の習得と技術の向上に努める。さらに職員は社会人としての社会性、良識を高める。</p> <p>力を入れて取り組んでいる点</p> <ul style="list-style-type: none"> ○一人ひとりを大切に……発達や生活習慣の習得を無理なくすすめ、主体性を育む保育 ○こころと感性を育てる…自然や地域の人たちとふれあい、心豊かな人間性を育む保育 ○地域子育ての核になる…地域に密着した行事や事業に質の高い保育所機能を提供する ○保育サービスの提供……多様な保育ニーズに応え、子育て支援事業に積極的に取り組む

職員配置	職 種	人 数	職 種	人 数	職 種	人 数
※()内は常勤	園 長	1 ()	看護師	1 ()	臨時職員	(1)
	主任保育士	1 ()	栄養士	1 ()	臨時調理員	(1)
	保育士	14 ()	調理師	1 ()		()
施設の状況 (平成22年8月1日現在)						
0歳児クラス 6名		1歳児クラス 5名		2歳児クラス 25名		
3歳児クラス 21名		4歳児クラス 15名		5歳児クラス 0名		

3 評価結果

○総評

<p>◇特に評価の高い点</p> <p>自然に恵まれた環境の中、子ども本位の保育がなされています。 宗教施設を母体としているため、ふれあいや思いやりを大切にした人格形成を目指した心の保育がなされています。 他方、施設管理者は自園のみならず、保育業界全体の発展を視野に入れ、日々自己研鑽を図っています。 保育業界全体のニーズの把握をはじめ、最新の情報の収集や分析を行っています。 また、それらの情報を自園でも取り入れ、保育サービスの向上を図っています。 歴史ある保育園であり、伝統と斬新さを持ち合わせた保育園と言えます。</p>
<p>◇特に改善を求められる点</p> <p>施設管理者は、将来の施設の方向性や展望について明確なビジョンと計画が構築されており、その実現に向けて強いリーダーシップを発揮しています。 その結果、幹部職員と若い職員との間で若干の意識差が生じています。 今後は業務の標準化はもちろんの事、職員間の意識レベルの標準化への取り組みが望まれます。</p>

○ 第三者評価結果に対する事業者のコメント

--

○各評価項目に係る第三者評価結果 (別紙1)

(別紙1)

評価細目の第三者評価結果

評価対象Ⅰ 福祉サービスの基本方針と組織

I-1 理念・基本方針

		第三者評価結果
I-1-(1) 理念、基本方針を確立している。		
①	I-1-(1)-① 理念を明文化している。	(a)・b・c
②	I-1-(1)-② 理念に基づく基本方針を明文化している。	(a)・b・c
I-1-(2) 理念や基本方針を周知している。		
①	I-1-(2)-① 理念や基本方針を職員及び利用者やその家族等に周知している。	(a)・b・c

特記事項

保育所の理念や基本方針は入園のしおりを始め、ホームページ等を通じて解りやすく周知するための努力がなされています。

また、施設の行事等が行われる都度、園長よりその説明がなされており、職員や利用者の方達の理解もなされています。

今後はホームページの充実等、更なる周知が望まれます。

I-2 計画の策定

		第三者評価結果
I-2-(1) 中・長期的なビジョンと計画を明確にしている。		
①	I-2-(1)-① 中・長期計画を策定している。	(a)・b・c
②	I-2-(1)-② 中・長期計画を踏まえた事業計画を策定している。	(a)・b・c
I-2-(2) 計画を適切に策定している。		
①	I-2-(2)-① 計画の策定を組織的に行っている。	(a)・b・c
②	I-2-(2)-② 計画を職員や利用者に周知している。	(a)・b・c

特記事項

将来の施設の方向性や展望について明確なビジョンと計画が構築されています。

事業計画は職員参画のもと、適切に作成されており、その内容も数値目標を設定するなど具体的なものになっており、実施状況の評価等も適切に行われています。

また、広報誌等を通じて保護者等にもわかりやすく説明がなされています。

今後は、これらの計画の定期的な評価・分析、見直しを行うとともに職員への周知徹底、更には保護者への周知を図る為の取り組みが望まれます。

I-3 管理者の責任とリーダーシップ

		第三者評価結果
I-3-(1) 管理者の責任を明確にしている。		
I-3-(1)-①	管理者自らの役割と責任を職員に対して表明している。	Ⓐ・b・c
I-3-(1)-②	遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている。	Ⓐ・b・c
I-3-(2) 管理者のリーダーシップを発揮している。		
I-3-(2)-①	質の向上に意欲を持ちその取組に指導力を発揮している。	Ⓐ・b・c
I-3-(2)-②	経営や業務の効率化と改善に向けた取組に指導力を発揮している。	Ⓐ・b・c

特記事項

管理者は自らの施設運営のみならず、保育業界全体の発展に対しても強いリーダーシップを発揮しています。

また、自らの立場をよく理解しており福祉分野に限らず幅広い分野の知識の吸収に努めています。保育サービスの質の向上についても職員参画のもと、随時評価や分析を行っており、組織的にかつ積極的に取り組んでいます。

評価対象Ⅱ 組織の運営管理

Ⅱ-1 経営状況の把握

		第三者評価結果
Ⅱ-1-(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。		
Ⅱ-1-(1)-①	事業経営をとりまく環境を的確に把握している。	Ⓐ・b・c
Ⅱ-1-(1)-②	経営状況を分析して改善すべき課題を発見する取組を行っている。	a・Ⓑ・c
Ⅱ-1-(1)-③	外部監査等を実施している。	Ⓐ・b・c

特記事項

経営状況については税理士による専門的な指導の下、積極的に改善に取り組んでいます。

社会福祉事業全体の動向や地域の福祉ニーズ等、事業経営を取り巻く環境の変化に関するデータの収集は適切に行われています。

また、把握された情報やデータは中・長期計画や事業計画に反映されています。

経営状況や改善すべき課題についての職員への周知も行われています。

II-2 人材の確保・養成

		第三者評価結果
II-2-(1) 人事管理の体制を整備している。		
II-2-(1)-①	必要な人材に関する具体的なプランを確立している。	Ⓐ・b・c
II-2-(1)-②	人事考課は客観的な基準に基づいて行っている。	a・Ⓑ・c
II-2-(2) 職員の就業状況に配慮している。		
II-2-(2)-①	職員の就業状況や意向を把握し必要があれば改善する仕組みを構築している。	Ⓐ・b・c
II-2-(2)-②	福利厚生事業に積極的に取り組んでいる。	Ⓐ・-・c
II-2-(3) 職員の質の向上に向けた体制を確立している。		
II-2-(3)-①	職員の教育・研修に関する基本姿勢を明示している。	Ⓐ・b・c
II-2-(3)-②	個別の職員に対して組織としての教育・研修計画を策定し、計画に基づいて具体的な取組を行っている。	Ⓐ・b・c
II-2-(3)-③	定期的に個別の教育・研修計画の評価・見直しを行っている。	Ⓐ・b・c
II-2-(4) 実習生の受け入れを適切に行っている。		
II-2-(4)-①	実習生の受け入れに対する基本的な姿勢を明確にし体制を整備している。	Ⓐ・b・c
II-2-(4)-②	実習生の育成について積極的な取組を行っている。	Ⓐ・b・c

特記事項

必要な人材に関する具体的なプランが確立されており、そのプランに基づいた人事管理を実施しています。

また、職員の質の向上の為、研修会や勉強会へ積極的に参加しています。

研修計画も職員の能力等を考慮して策定されており、研修後の成果の分析や見直しも適切に行われています。

II-3 安全管理

		第三者評価結果
II-3-(1) 利用者の安全を確保するための取組を行っている。		
II-3-(1)-①	緊急時（事故、感染症の発生時など）の対応など利用者の安全確保のための体制を整備し機能している。	Ⓐ・b・c
II-3-(1)-②	利用者の安全確保のためにリスクを把握し対策を実行している。	Ⓐ・b・c

特記事項

安全管理については担当者を設置し、職員参画のもと、定期的に安全確保に関する検討会を開催しています。

マニュアルやチェックリストの整備もなされており、緊急の場合の連絡網も整備されています。

職員に対する指導や研修も積極的になされています。

II-4 地域との交流と連携

		第三者評価結果
II-4-(1) 地域との関係を適切に確保している。		
II-4-(1)-①	利用者地域とのかかわりを大切にしている。	Ⓐ・b・c
II-4-(1)-②	事業所が有する機能を地域に還元している。	Ⓐ・b・c
II-4-(1)-③	ボランティア受け入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	Ⓐ・b・c
II-4-(2) 関係機関との連携を確保している。		
II-4-(2)-①	必要な社会資源を明確にしている。	Ⓐ・b・c
II-4-(2)-②	関係機関等との連携を適切に行っている。	Ⓐ・b・c
II-4-(3) 地域の福祉向上のための取組を行っている。		
II-4-(3)-①	地域の福祉ニーズを把握し、事業・活動を行っている。	Ⓐ・b・c

特記事項

<p>地域の人々に、保育所や子どもへの理解を得られるための日常的なコミュニケーションが図られています。</p> <p>子育て情報の提供等、地域ニーズに応じ住民が自由に参加できる多様な支援活動も積極的になされています。</p> <p>保育所と地域の係わりの必要性や基本的な考え方の職員への周知も行われています。</p> <p>今後は、必要な社会資源等、職員間の情報の共有化が望まれます。</p>
--

評価対象III 適切な福祉サービスの実施

III-1 利用者本位の福祉サービス

		第三者評価結果
III-1-(1) 利用者を尊重する姿勢を明示している。		
III-1-(1)-①	利用者を尊重したサービス提供について共通の理解をもつための取組を行っている。	Ⓐ・b・c
III-1-(1)-②	利用者のプライバシー保護に関する規程・マニュアル等を整備している。	Ⓐ・b・c
III-1-(2) 利用者満足の向上に努めている。		
III-1-(2)-①	利用者の意向の把握と満足の向上への活用に取り組んでいる。	Ⓐ・b・c
III-1-(3) 利用者が意見等を述べやすい体制を確保している。		
III-1-(3)-①	利用者が相談や意見を述べやすい環境を整備している。	Ⓐ・b・c
III-1-(3)-②	苦情解決の仕組みを確立し十分に周知・機能している。	Ⓐ・b・c
III-1-(3)-③	利用者からの意見等に対して迅速に対応している。	Ⓐ・b・c

特記事項

<p>子どものプライバシー保護についてはマニュアル等も整備されており、そのマニュアル等に基づいたサービスが実施されています。</p> <p>利用者満足の向上については、苦情解決の体制を整備する等、その仕組みは確立しています。</p> <p>利用者からの苦情に対してもその保護者へのフィードバックは適切に行われています。</p> <p>また、これらの苦情等について、その苦情内容及び解決結果等を公表しており、利用者に対して安心感を与えるための取り組みも行われています。</p>

III-2 サービスの質の確保

	第三者評価結果
III-2-(1) 質の向上に向けた取組を組織的に行っている。	
III-2-(1)-① サービス内容について定期的に評価を行う体制を整備している。	Ⓐ・b・c
III-2-(1)-② 評価の結果に基づき組織として取り組むべき課題を明確にしている。	Ⓐ・b・c
III-2-(1)-③ 課題に対する改善策・改善計画を立て実施している。	Ⓐ・b・c
III-2-(2) 個々のサービスの標準的な実施方法を確立している。	
III-2-(2)-① 個々のサービスについて標準的な実施方法を文書化しサービスを提供している。	Ⓐ・b・c
III-2-(2)-② 標準的な実施方法について見直しをする仕組みを確立している。	Ⓐ・b・c
III-2-(3) サービス実施の記録を適切に行っている。	
III-2-(3)-① 利用者に関するサービス実施状況の記録を適切に行っている。	Ⓐ・b・c
III-2-(3)-② 利用者に関する記録の管理体制を確立している。	Ⓐ・b・c
III-2-(3)-③ 利用者の状況等に関する情報を職員間で共有化している。	Ⓐ・b・c

特記事項

<p>サービスの質の向上に向けた取組みは職員参画のもと、組織的に行われています。</p> <p>また、サービスの内容について、定期的に評価・分析を行いその結果に基づく課題について文書化がなされています。</p> <p>職員間での課題の共有化も図られています。</p> <p>個々のサービスについても標準的な実施方法が確立されており、その見直しも定期的に行われています。</p> <p>サービスの実施状況の記録も適切に行われています。</p>
--

III-3 サービスの開始・継続

	第三者評価結果
III-3-(1) サービス提供の開始を適切に行っている。	
III-3-(1)-① 利用希望者に対してサービス選択に必要な情報を提供している。	Ⓐ・b・c
III-3-(1)-② サービスの開始にあたり利用者等に説明し同意を得ている。	Ⓐ・b・c
III-3-(2) サービスの継続性に配慮した対応が行われている。	
III-3-(2)-① 事業所の変更や家庭への移行などにあたりサービスの継続性に配慮した対応を行っている。	Ⓐ・b・c

特記事項

<p>入園のしおりなどは、その内容も解りやすく説明がなされており、施設の方針等の説明も理解しやすい内容となっています。</p> <p>また、見学や体験利用等も積極的に行なわれています。</p> <p>利用者に関する記録の管理体制もその規定等を整備したうえで適切に行われています。</p> <p>保育終了後の育児支援も適切に行われており、その事の保護者への周知も図られています。</p>
--

Ⅲ-4 サービス実施計画の策定

		第三者評価結果
Ⅲ-4-(1) 利用者のアセスメントを行っている。		
Ⅲ-4-(1)-①	定められた手順に従ってアセスメントを行っている。	Ⓐ・b・c
Ⅲ-4-(1)-②	利用者の課題を個別のサービス場面ごとに明示している。	Ⓐ・b・c
Ⅲ-4-(2) 利用者に対するサービス実施計画を策定している。		
Ⅲ-4-(2)-①	サービス実施計画を適切に策定している。	Ⓐ・b・c
Ⅲ-4-(2)-②	定期的にサービス実施計画の評価・見直しを行っている。	Ⓐ・b・c

特記事項

利用者のアセスメントについては、定められた手順に従って適切に行われています。
 また、子ども一人ひとりのニーズや課題を明示するための手続きも適切に行われています。
 サービスの実施計画についても適切に策定されています。
 そのサービスの実施計画どおりにサービスが行われている事を確認するための仕組み作りも行われています。
 また、その評価・見直しも定期的なものはもちろんの事、必要があれば随時行われています

評価対象Ⅳ 実施する福祉サービスの内容

Ⅳ-1 子どもの発達援助

		第三者評価結果
Ⅳ-1-(1) 発達援助の基本		
Ⅳ-1-(1)-①	保育計画が、保育の基本方針に基づき、さらに地域の実態や保護者の意向等を考慮して作成している。	Ⓐ・b・c
Ⅳ-1-(1)-②	指導計画の評価を定期的に行い、その結果に基づき、指導計画を改定している。	Ⓐ・b・c
Ⅳ-1-(2) 健康管理・食事		
Ⅳ-1-(2)-①	登所時や保育中の子どもの健康管理は、マニュアルなどがあり子ども一人ひとりの健康状態に応じて実施している。	Ⓐ・b・c
Ⅳ-1-(2)-②	健康診断の結果について、保護者や職員に伝達し、それを保育に反映させている。	Ⓐ・b・c
Ⅳ-1-(2)-③	歯科健診の結果について、保護者や職員に伝達し、それを保育に反映している。	Ⓐ・b・c
Ⅳ-1-(2)-④	感染症発生時に対応できるマニュアルがあり、発生状況を保護者、全職員に通知している。	Ⓐ・b・c
Ⅳ-1-(2)-⑤	食事を楽しむことができる工夫をしている。	Ⓐ・b・c
Ⅳ-1-(2)-⑥	子どもの喫食状況を把握するなどして、献立の作成・調理の工夫に活かしている。	Ⓐ・b・c
Ⅳ-1-(2)-⑦	子どもの食生活を充実させるために、家庭と連携している。	Ⓐ・b・c
Ⅳ-1-(2)-⑧	アレルギー疾患をもつ子どもに対し、専門医からの指示を得て、	Ⓐ・b・c

	適切な対応を行っている。	
IV-1-(3) 保育環境		
	IV-1-(3)-① 子どもが心地よく過ごすことのできる環境を整備している。	Ⓐ・b・c
	IV-1-(3)-② 生活の場に相応しい環境とする取組を行っている。	Ⓐ・b・c
IV-1-(4) 保育内容		
	IV-1-(4)-① 子ども一人ひとりへの理解を深め、受容しようと努めている。	Ⓐ・b・c
	IV-1-(4)-② 基本的な生活習慣や生理現象に関しては、一人ひとりの子どもの状況に応じて対応している。	Ⓐ・b・c
	IV-1-(4)-③ 子どもが自発的に活動できる環境を整備している。	Ⓐ・b・c
	IV-1-(4)-④ 身近な自然や社会とかかわれるような取組を行っている。	Ⓐ・b・c
	IV-1-(4)-⑤ さまざまな表現活動が体験できるように配慮している。	Ⓐ・b・c
	IV-1-(4)-⑥ 遊びや生活を通して人間関係が育つよう配慮している。	Ⓐ・b・c
	IV-1-(4)-⑦ 子どもの人権に十分配慮するとともに、文化の違いを認め、互いに尊重する心を育てるよう配慮している。	Ⓐ・b・c
	IV-1-(4)-⑧ 性差への先入観による固定的な観念や役割分業意識を植え付けないよう配慮している。	Ⓐ・b・c
	IV-1-(4)-⑨ 乳児保育のための環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	Ⓐ・b・c
	IV-1-(4)-⑩ 長時間にわたる保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮している。	Ⓐ・b・c
	IV-1-(4)-⑪ 障害児保育のための環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	Ⓐ・b・c

特記事項

<p>子どもの発達援助については、保育計画が児童憲章、保育指針等の保育の基本方針に基づいて作成されており、指導計画も定期的に評価・見直しが行われ、その結果に基づいた指導計画を改定しています。</p> <p>また、健康管理や食事・保育環境や保育内容についても、マニュアルの整備やチェックリストの活用が行われており、職員への研修や周知も積極的に行われています。</p>
--

IV-2 子育て支援

		第三者評価結果
IV-2-(1) 入所児童の保護者等への育児支援		
	IV-2-(1)-① 一人ひとりの保護者と日常的な情報交換に加え、個別面談などを行っている。	Ⓐ・b・c
	IV-2-(1)-② 家庭の状況や保護者との情報交換の内容を必要に応じて記録している。	Ⓐ・b・c

IV-2-(1)-③ 子どもの発達や育児などについて、懇談会などの話し合いの場に加えて、保護者と共通理解を得るための機会を設けている。	㉠・b・c
IV-2-(1)-④ 虐待を受けていると疑われる子どもの早期発見に努め、得られた情報が速やかに所長まで届く体制になっている。	㉠・b・c
IV-2-(1)-⑤ 虐待を受けていると疑われる子どもの保護者への対応について、児童相談所などの関係機関に照会、通告を行う体制が整っている。	㉠・b・c
IV-2-(1)-⑥ 一時保育は、一人ひとりの子どもの心身の状態を考慮し、通常保育との関連を配慮しながら行っている。	㉠・b・c

特記事項

<p>保護者等への育児支援については、子育て相談や個別面談を行う等、積極的に行われています。また、よいこネットを通じ保護者に施設の状況が解るようにする等、保護者とのコミュニケーションが図れる様な取組みがなされています。</p> <p>児童虐待についてはマニュアルの整備もなされており、職員への研修も積極的になされています。日頃から児童相談所や福祉事務所等との連携を図るための取組みも積極的になされています。</p>

IV-3 安全・事故防止

	第三者評価結果
IV-3-(1) 安全・事故防止	
IV-3-(1)-① 調理場、水周りなどの衛生管理は、マニュアルに基づいて適切に実施している。	㉠・b・c
IV-3-(1)-② 食中毒の発生時に対応できるマニュアルがあり、さらにその対応方法については、全職員にも周知している。	㉠・b・c
IV-3-(1)-③ 事故防止のためのチェックリスト等があり、事故防止に向けた具体的な取組を行っている。	㉠・b・c
IV-3-(1)-④ 事故や災害の発生時に対応できるマニュアルがあり、全職員に周知している。	㉠・b・c
IV-3-(1)-⑤ 不審者の侵入時などに対応できるマニュアルがあり、全職員に周知している。	㉠・b・c

特記事項

<p>衛生管理マニュアル・食中毒発生時対応マニュアル・不審者進入時対応マニュアル等、安全や事故防止のためのマニュアルやチェックリストは整備されており、その見直しや評価も定期的に行われています。また、職員に対する研修も積極的に行われています。</p> <p>子どもたちに対する安全教育も定期的実施されています。</p>
--